

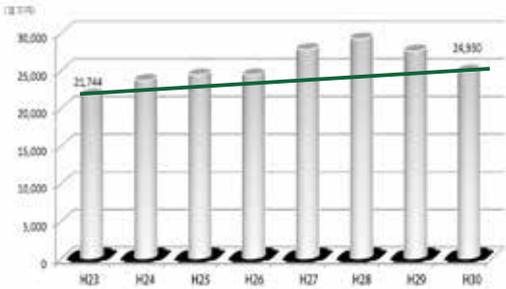
まちの 予算

平成30年度の一般会計予算が決まりましたので、概要と主な施策をお知らせします。

概要

予算は、まちの将来像「人が集い 未来を拓くものづくりと文化のまち」をキーワードに編

大型事業が終了し、
予算規模は縮小しました



成を行いました。第2次安来市総合計画、安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略、そして中期財政計画に基づき計画的に事業を進めていきます。

一方で、厳しい財政状況や一般財源の減少が見込まれている中、予算の見直しも進めました。歳入に見合った歳出が予算の基本です。行財政改革の徹底を図り、創意工夫や優先順位を持って予算措置を行いました。

財政の安定運営

平成29年度は、未来50年間のまちづくりを見据えた大型事業の数々が終了しました。7月に安来庁舎、9月に総合文化ホールが竣工し、まちが大きく変わりました。

平成30年度の一般会計予算は、大型事業が終了するため安定的な財政運営となるよう編成されています。これまで取り組んできた安来市独自のソフト事業を中心に事業を進めます。

とくに、市の収入を増やすための発展的な事業には、積極的に取り組んでいきます。企業誘致をはじめ、農業や観光などの産業振興、定住事業などは着実に成果が出るよう進めていきます。

平成30年度の予算総括表

(単位：千円・%)

会計名	予算額	増減率
一般会計	24,930,000	△ 9.7
特別会計	13,849,900	△ 7.8
国民健康保険事業	4,658,000	△ 17.4
後期高齢者医療事業	1,060,000	△ 0.4
介護保険事業	5,021,000	4.2
電気事業	42,000	△ 62.8
下水道事業	3,068,000	△ 9.1
母里財産区	600	0.0
井尻財産区	150	0.0
赤屋財産区	150	△ 16.7
合計	38,779,900	△ 9.0

行財政改革の取り組み

事業を進めるにあたっては、行財政改革の徹底を図り、創意工夫を持って取り組みます。予算編成で、市民の皆さんの多様な成果や優先順位を検証しながら、新規事業や従来事業の別な事業を選択しました。

平成30年度は、第3次行政改革大綱で位置づけた取り組みを確実に実施していきます。とくに市の保有する公共施設は、最適な維持管理・運営を行うため、公共施設等総合管理計画に基づき見直します。



歳入歳出の特徴

一般会計予算の総額は249億3千万円で、前年度比9・7%、26億7千万円の減少となりました。これは、安来庁舎や総合文化ホールの建設終了などの影響によるものです。このため、目的別の項目では「総務費」と「教育費」が大幅に減少しています。

また、土木費（前年比24・2%の減）などの歳出予算も減少となっていますが、中期財政計画を見据えた歳出としたためです。

一方、歳入では、国からの「地方交付税」が3億円の減少となりました。また、前述の大型事業の終了により、「市債」が大幅に減少しています。

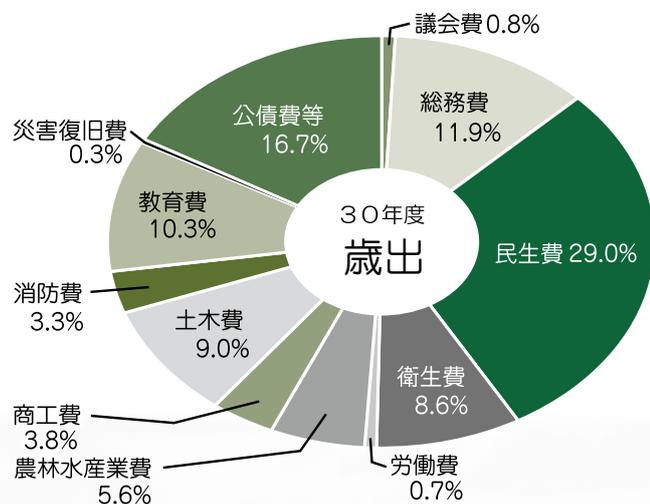
市税は、法人の固定資産税と法人市民税が好調なため全体で4・3%の増加となりました。ふるさと寄附をはじめとする「寄附金」収入は前年度と比べて1億円減の3億円を見込んでいます。

市税や寄附金などの自主財源は歳入全体の32・7%。前年度と比較して微増ですが、引き続き行政改革などに取り組み財源の確保を目指していきます。

※予算額の単位は千円、増減は%

区分	予算額	前年増減
議会費	206	△ 0.6
総務費	2,960	△ 25.8
民生費	7,221	2.6
衛生費	2,154	12.1
労働費	163	3.5
農林水産業費	1,406	△ 0.9
商工費	945	△ 5.9
土木費	2,235	△ 24.2
消防費	814	△ 0.3
教育費	2,573	△ 30.3
災害復旧費	86	△ 25.9
公債費	3,709	△ 0.9
諸支出金	438	△ 17.3
予備費	20	0.0
合計	24,930	△ 9.7

目的別歳出予算の構成比・内訳

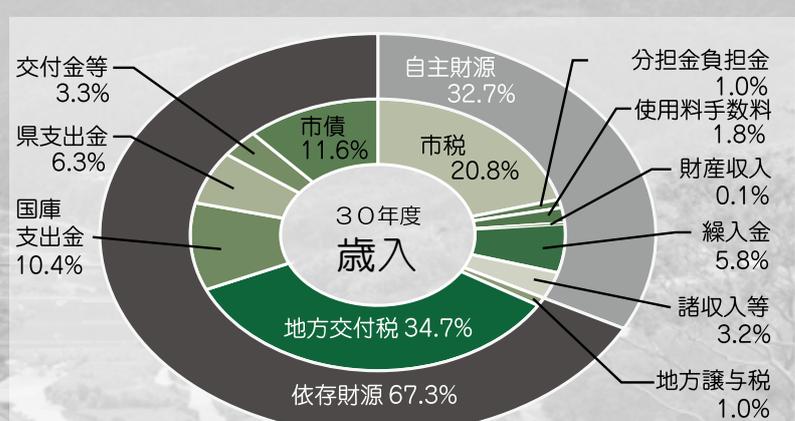


【用語】 民生費…高齢者・障がい者福祉対策、児童対策など
 衛生費…予防接種、各種検診、ごみ処理など
 公債費…借入金の元金・利子の返済など

※予算額の単位は千円、増減は%

区分	予算額	前年増減
市税	5,179	4.3
分担金・負担金	253	11.2
使用料・手数料	438	△ 0.8
財産収入	18	△ 19.1
繰入金	1,457	△ 33.2
諸収入	499	△ 15.8
寄附金	300	△ 25
地方譲与税	245	9.4
地方交付税	8,660	△ 3.3
国庫支出金	2,585	△ 4.2
県支出金	1,581	△ 1.9
交付金等	835	△ 16.9
市債	2,880	△ 35.9
合計	24,930	△ 9.7

一般会計歳入の構成比・内訳



【用語】 依存財源…国・県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源



平成30年度は次の施策に取り組みます

保険医療福祉

54億
1千万円

▼医療施設整備費補助事業
1億94百万円

市内の民間病院で、地域包括ケア病棟を含んだ新診療棟建設を対象に、県補助金に合わせ市補助金を交付します。

▼診療所施設整備事業7百万円
老朽化した赤屋診療所の改修を行い、山間地域の医療を守ります。

▼乳幼児医療費助成事業
1億45百万円

中学生までのお子さんの医療費を引き続き無料とします。市の単独助成制度で保護者の経済的負担の軽減を図ります。

子育て教育文化

52億
1千万円

▼城谷保育所（仮称）新築工事補助事業 2億43百万円

現在の指定管理者への業務移譲に向け、指定管理者が行う新築工事に補助金を交付します。

鉄骨造1階建てで、定員は120人、平成31年4月に開所予定。

▼幼稚園型認定こども園管理事業 21百万円

能義幼稚園と島田幼稚園は、保護者の働き方等の変化に柔軟に子どもを受け入れられる幼稚園型認定こども園へ移行します。子育て世帯の保育ニーズに応えていきます。

▼外国語指導事業 24百万円

平成32年度に完全実施となる新学習指導要領の小学校外国語教育に対応するため、ALTを1名増員の5名とします。小学校中学年の外国語活動、高学年の英語科に向けた先行実施に取り組みます。

また、認定こども園、幼稚園、保育所への訪問、ALTと連携した事業をすることで、コミュニケーション能力の向上を図り、グローバル感覚をもった子どもを育成していきます。



▲小学校の英語授業の様子。



▲総合文化ホールでは開館1周年事業を展開します。

▼学校図書館活性化事業
42百万円

新しい学校図書館図書管理システムを稼働します。新システムは公共図書館からの本の借入、他校の図書検索などが可能です。また、全ての学校図書館に司書を配置し、読書活動の促進を図ります。

▼就学援助事業 42百万円

今年度から小中学校共に次年度新入学の準要保護児童・生徒に対して、新入学学用品費を入学前に支給します。（昨年度は中学校のみ対象）

▼体育施設整備事業
2億83百万円

市民体育館の耐震補強工事を行い、安全で快適かつ安心して利用できるスポーツ施設を提供します。

▼全国山城サミット安来大会開催事業 8百万円

9月に月山富田城跡、総合文化ホールアルテピアで第25回全

国山城サミットを開催します。戦国尼子フェスティバルとの同時開催で相乗効果を図ります。

防災防犯

8億
5千万円

▼消防団施設等整備事業
78百万円

消防団施設等の整備を行い、消防力の充実強化を図ります。今年度は布部分団の拠点施設整備を進めます。

▼防災対策事業 15百万円

防災・減災力を高めることで、被害の発生を抑制するとともに速やかな復旧を図ります。自主防災組織育成事業（資機材購入、訓練費用等の補助）などに取り組みます。

都市基盤生活

32億
6千万円

▼生活交通ネットワーク再編事業 4百万円

比田地区で自治会輸送事業の実証実験を実施し、公共交通空



オーダーメイド型 貸工場が下山佐に完成

誘致企業の要望に合わせて貸工場を建設するオーダーメイド貸工場が広瀬町下山佐に完成し、3月13日竣工式を開催しました。中山間地域の産業振興と雇用の場の確保のため市内で初めて整備されたものです。

使用企業は株式会社豊栄工業（愛知県新城市）。医療機器など部品製造を行う会社で、今後3年間で7人の地元採用を計画しています。

市では平成30年度も引き続き工業団地の整備に着手し、企業誘致に取り組めます。

白地域の解消を図ります。実証実験期間を経て、10月から本格運行を予定しています。

▼ハーモニータウン汐彩販売促進事業 32百万円

購入者のニーズに沿った分譲を進めます。①新築支援補助金制度（100万円助成）を活用する『分譲販売』②35年間有償で土地を貸し、期間満了後は無償で譲渡する『住宅地貸付事業』③51年間月額7千円で宅地を貸し、期間満了後は建物を除却して土地を返還してもらう『定期借地権制度』

▼安来港飯島線道路改良事業 1億91百万円

第一中学校までの補助幹線道路について西側へ500m部分の整備に着手します。児童・生徒の通学時の安全確保を図ります。

産業 観光 雇用

23億
3千万円

▼就農・定住パッケージ事業 51百万円

受け入れ集落、師匠、農地（園芸施設）に加え「住居」をパッケージ化したUターンによる就農者を誘致する仕組みを構築し、集落ビジョンの達成と定住によって担い手確保・園芸産地・集落の活性化を図ります。

▼紺センター施設整備事業 30百万円

9月に開催する「全国山城サミット」等に向け、施設を改修します。特産品販売や飲食ブースを充実させ、来客者の受入態勢を図ります。

自然 環境保全

5億
8千万円

▼再生可能エネルギー普及事業 5百万円

太陽光発電システム、蓄電池設備、太陽熱利用設備の設置費に対して、市民を対象に補助を行います。また、再生可能エネルギーの普及をはじめ、環境保全の推進を目的に「やすぎ環境フェア」を開催します。

参画 協働 行財政

31億
469万円

▼戦国尼子フェスティバル事業 8百万円

5年に1度開催される「第7



▲手づくり甲冑で盛り上げます。

「ふるさと寄附」 の使い道

市では寄附金を次の事業などに活用しています。

- ・ふるさと教育推進事業
- ・総合文化ホール運営事業
- ・給食センター運営事業
- ・認定こども園管理事業

▼防災公園整備事業 2億75百万円

安来庁舎南側に防災公園を整備し、災害時の避難施設を設けます。平常時には市民の防災訓練や研修の場として有事に備えるとともに、市民交流の場として利用することで多様な活動に対応できる施設にします。

▼地区公民館耐震改修事業 1億36百万円

比田・下山佐・安田交流センターの3施設に耐震補強工事を実施し、建物の長期活用および避難所としての安全強化を進めます。

回尼子一族全国大集会及び戦国尼子フェスティバル」を市民が中心となった実行委員会で組織し開催します。戦国時代をテーマとし、史跡探訪ウォーク、手づくり鎧かぶと教室や武者行列など、全国に向けて「歴史のまち安来」をPRしていきます。

